



## R A C I N G M E T E R D C

“BLITZ”-the ability to progress in parameter of the motor vehicle  
Established in 1980, “BLITZ”has revolutionized the automotive industry

# 取り扱い、説明書

: 本製品のご紹介	2
: 付属品のご案内	3
: 取り扱い上の注意事項	5
: 取り付け説明	8
: 操作説明	13
: メーターパーツのご紹介	25

株式会社ブリッツ

URL: <http://www.blitz.co.jp/>

この度は「BLITZ RACING METER DC」をお買いあげ頂き、誠に有り難う御座います。  
本製品を車両に取り付ける前に、必ずこの製品についての説明書を御一読下さい。

## 【：本製品のご紹介】

### 〔製品の特徴〕

- ・ 全機種に小型ステッピングモーターを採用し、薄さ20.4mm、重さ38gという驚異のサイズを実現しました。(全機種 60の電気式です。)
- ・ 軽量コンパクトなメーター本体は、取り付け場所を選びませんのでどこにでも貼り付けられ、従来の電気式メーターよりも取り付け作業が簡単です。
- ・ メタルルックベゼル・カーボン調ケースを採用し、高級感のあるリアルなメーターボディです。
- ・ 面盤の照明には、視認性の良い「ブルーホワイト色LED」を採用しており、照明の輝度を調整することも出来ます。(照明は常時点灯しています。)
- ・ ブーストメーターは、従来のようなセンサーを取り付ける必要がありません。ブーストメーターのプレッシャーセンサーはライブユニット に内蔵されていますので、機械式のブーストメーターを取り付けるのと同じ要領で取り付けられます。
- ・ テンプメーターは、メーター部のスイッチで切り替える事により、1台のメーターに「油温」「水温」を個別表示することが可能です。(テンプセンサー1台分の追加接続が別途必要。)
- ・ SPEED/POWERメーターは、メーター部のスイッチで切り替える事により、1台のメーターに、「速度」「馬力」を個別表示することが可能です。また、スピードリミッターを解除することが可能です。(一部車種を除く。)
- ・ EX.T/REVメーターは、メーター部のスイッチで切り替える事により、1台のメーターに、「排気温度」「エンジン回転数」を個別表示することが可能です。
- ・ 全てのメーター接続をカプラーONにし、取り付け作業を容易にしました。メーター毎の電源配線や照明配線は不要です。
- ・ ライブユニット を2台連結することで、最大6台のメーターが、増設可能です。(連結機能は、ライブユニット のみの機能です。)
- ・ ライブユニット (中継接続器)を採用することにより、接続された全てのメーターに電源を分配します。(電源の接続はライブユニット のみです。ただし、ライブユニット を連結させる場合は、それぞれのライブユニット で、電源接続して下さい。)
- ・ ライブユニット のメーター接続コネクタは、どのコネクタに接続しても、メーター側がデータを認識しますので、接続位置の指定はありません。(連結させる場合は、メーターに対応したセンサーを取り付けている方のライブユニット に、コネクタを接続して下さい。)
- ・ ブーストメーター・プレスメーターに指針の表示方法を3種類設定しました。(表示モード参照。)
- ・ POWERメーター・REVメーターに、指針の表示方法を2種類設定しました。(表示モード参照)
- ・ 全機種に「ピークホールド」「ワーニング」「リプレイ」機能を搭載しております。(各機能説明参照。)さらに、リプレイ機能は、1つのボタン操作で、全てのメーターを連動させる事が可能です。
- ・ 新構造の、鮮やかな3色(赤・緑・黄)のLED表示部で、操作の確認が出来ます。
- ・ ライブユニット に、ワーニングインジケーター接続ハーネスを装備。(ワーニングインジケーターは、別途必要です。)
- ・ ブーストメーター・テンプメーター・プレスメーターは、旧ライブユニットでも、使用できます。

**(製品ラインナップ)**

□ レーシングメーターDC	LIVE UNIT	.....	定価 ¥ 13,000
□ レーシングメーターDC	BOOST2.0(CARBON)	.....	定価 ¥ 22,000
□ レーシングメーターDC	BOOST2.0(WHITE)	.....	定価 ¥ 22,000
□ レーシングメーターDC	BOOST2.0(BLUE)	.....	定価 ¥ 22,000
□ レーシングメーターDC	TEMP(CARBON)	.....	定価 ¥ 26,000
□ レーシングメーターDC	TEMP(WHITE)	.....	定価 ¥ 26,000
□ レーシングメーターDC	TEMP(BLUE)	.....	定価 ¥ 26,000
□ レーシングメーターDC	PRESS(CARBON)	.....	定価 ¥ 32,000
□ レーシングメーターDC	PRESS(WHITE)	.....	定価 ¥ 32,000
□ レーシングメーターDC	PRESS(BLUE)	.....	定価 ¥ 32,000
□ レーシングメーターDC	SPEED / POWER(CARBON)	.....	定価 ¥ 28,000
□ レーシングメーターDC	SPEED / POWER(WHITE)	.....	定価 ¥ 28,000
□ レーシングメーターDC	SPEED / POWER(BLUE)	.....	定価 ¥ 28,000
□ レーシングメーターDC	EX.T / REV(CARBON)	.....	定価 ¥ 28,000
□ レーシングメーターDC	EX.T / REV(WHITE)	.....	定価 ¥ 28,000
□ レーシングメーターDC	EX.T / REV(BLUE)	.....	定価 ¥ 28,000
□ レーシングメーターDC	ワーニングインジケーターセット	.....	定価 ¥ 2,800

**【 :付属品のご案内】**

取り付け作業に入る前に、キット内の構成パーツを確認して下さい。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一パーツの損失や不足等が御座いましたら弊社窓口までご連絡下さい。

**製品についての連絡先**

本製品に関してのお問い合わせやご連絡は、お電話又はFAXにて下記宛にお願いします。

連絡先: (株)ブリッツ

TEL: 0566 - 79 - 2200

住所 : 愛知県安城市高棚町大道40 - 1

FAX: 0566 - 79 - 2070

URL: <http://www.blitz.co.jp/>

**(商品構成パーツ)**

**(LIVE UNIT )**

LIVE UNIT 本体	1台	タイラップ小	1本
電源用ハーネス	1本	エレクトロタップ	4個
車速信号・LIVEUNIT 連結ハーネス	1本	取り扱い説明書(兼保証書)	1部
両面テープ 50×15mm	2枚	パッケージ	1箱
タイラップ大	1本		

**(BOOST METER)**

メーター本体	1台	タイラップ大	1本
ナイロンホース 4×2m	1本	タイラップ小	1本
ナイロンホースジョイント(ストレート)	1個	取り扱い説明書(兼保証書)	1部
ナイロンホースジョイント(Tパイプ)	1個	パッケージ	1箱
両面テープ 50×15mm	1枚		

(TEMP METER)

メーター本体	1台	タイラップ大	1本
TEMPセンサー(ネジピッチ1/8)	1本	タイラップ小	1本
センサー中間ハーネス(3.5m)	1本	取り扱い説明書(兼保証書)	1部
両面テープ 50×15mm	1枚	パッケージ	1箱

(PRESS METER)

メーター本体	1台	タイラップ大	1本
PRESSセンサー(ネジピッチ1/8)	1本	タイラップ小	1本
センサー中間ハーネス(3.0m)	1本	取り扱い説明書(兼保証書)	1部
両面テープ 50×15mm	1枚	パッケージ	1箱

(SPEED / POWER METER)

メーター本体	1台	エレクトロタップ	2個
両面テープ 50×15mm	1枚	取り扱い説明書(兼保証書)	1部
タイラップ大	1本	ECU配線図集	1部
タイラップ小	1本	パッケージ	1箱

(EX.T / REV METER)

メーター本体	1台	タイラップ大	1本
EX.Tセンサー(ネジピッチ1/8)	1本	タイラップ小	1本
EX.Tセンサー延長ハーネス(1.0m)	1本	取り扱い説明書(兼保証書)	1部
TACHOハーネス	1本	ECU配線図集	1部
両面テープ 50×15mm	1枚	パッケージ	1箱

- ・ 各メーターのハーネスは1.5mです。
- ・ 各センサーのハーネスを、延長したり短縮したりしないで下さい。
- ・ キット内の構成パーツは、本製品を取り付けるに必要最小限のパーツで構成されております。取り付け場所や取り付け方法により、キット以外のパーツが必要になる場合があります。

## 【 :取り扱い上の注意事項】

下記の注意事項を良くお読みになり、充分ご理解頂いた上で、正しい取り付け作業及び正しいご利用を行う様にして下さい。

### 本文中マークの説明

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、人が死亡又は重傷を負う事に至る切迫した危険状況を示します。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、人が軽傷又は中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況、及び物質損害の発生のみが想定される状況を示します。
お願い	この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、本製品が本来の性能を発揮できなかつたり、故障する内容及び利用出来ない機能や事項等の内容を示します。(人身事故に関わらない特別な説明)

### お願い

この製品についての説明には、製品を使用する際と車両に装着する際の注意事項が詳しく記載してありますので、用途に応じた説明を良くお読みになって正しくお使い下さい。

本説明書は、いつでも取り出して読める様に車内に大切に保管しておいて下さい。

この製品は本書記載の構成部品、付属品リストで構成されています。不具合や不足がある場合には、販売店または弊社まで連絡を下さい。

この製品は精密機器の為、装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で故障の原因になる場合がありますので取り扱いには注意して下さい。また、不要な分解をしますと機能が損なわれる恐れがあります。機能が損なわれますとエンジンが破損する事があります。

メーター本体とライブユニットの取り付け場所は、ヒーターの出口や直射日光の当たるダッシュボード、コラムカバー上部など温度の高くなる場所は避けて設置して下さい。温度が高い所に設置しますと通常の電子部品作動限界温度(60 )を超える場合があります。その場合電子回路が作動不良を起こしたり、ケースが変形したりして操作ができなくなる事があります。

本製品の取り付け作業に伴うノーマル部品の脱着作業は、自動車メーカーの定める修理書又は整備書を参照になり、正しい作業を行って下さい。

### 危険

この製品の取り付け作業は、バッテリーのマイナス端子を外して電源オフの状態にして下さい。電圧のかかった状態で取り付け作業を行いますと、作業中の接触により感電したり、本製品や取り付けた車両の電装部品が、破損したりする原因となりますので注意して下さい。

誤配線は絶対にしないで下さい。誤配線した場合、本製品の破損や取り付けた車両の火災につながりますので危険です。誤配線や結線不良により発生する、本製品破損や取り付けた車両の破損について弊社は一切の責任を負いません。

電源回路が、12Vと24Vの併用車及び24V車には適合しません。

## 警告

本製品装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生した不具合に関しまして、弊社では責任を負う事が出来ませんので、詳細はその製品に備え付けの取り扱い説明書などをお読み下さい。

お客様ご本人、又は第三者の方がこの製品及び付属品の誤った使用やその使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた傷害に付いて、弊社は一切の責任を負いませんので予め御了承下さい。

自動車の部品交換は本来設備の整った自動車整備工場で、専門の教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。専門外のお客様が作業すると、けがや火傷の可能性があり危険です。

## 警告

### 一酸化炭素中毒防止

エンジンをアイドリングしたまま休憩や仮眠をすると、排気ガスによる一酸化炭素中毒を招く危険性があります。必ずエンジンを停止して下さい。

排気ガスには有毒な成分が含まれています。閉めきった車庫や倉庫の中などでエンジンを動かすにつけると一酸化炭素中毒の危険があります。必ずエンジンを停止して下さい。

マフラーのテールパイプからは有毒な排気ガスが排出されます。停車または駐車中に車の後方にいたり、特に幼児やペットを置いてエンジンを動かし続けると一酸化炭素中毒の危険があります。必ずエンジンを停止して下さい。風向きにも注意して下さい。

### 触れると火傷

エンジンが動いている時あるいはエンジンを停止した後はエキゾーストマニホールド、ラジエータ、エンジン本体やマフラーが非常に高温になっています。特に後端のテールパイプの部分は自動車の外に露出していて触れやすいので気をつけて下さい。触れると大火傷の危険があります。

お子様には特に注意して下さい。またトランクから荷物を出し入れする時衣服がテールパイプに触れると焦げたり溶けたりする事があります。停車、駐車する際には周囲に気をつけて下さい。

ラジエータ、エンジン本体や排気関係の部品は熱いので触れると火傷します。必ず冷やしてから作業を行って下さい。手の火傷を防ぐ為に作業用の手袋を着用して下さい。

### その他

本製品の取り付けは、車室内やエンジンルーム内の電気配線及びエンジン本体付近で作業をしますので電気配線やエンジン配管に傷を付けない様に作業をして下さい。電気配線やエンジン配管に傷を付けますと、配線ショートやエンジンオイル漏れ、冷却水漏れの原因となり最悪の場合にはエンジンの破損や車両の破損・焼損が考えられます。

純正部品のボルトやナットが緩みにくい事がありますのでスプレー式の浸透性潤滑油などを使用し適正な工具を使用して無理のない作業を行って下さい。特に手のけがを防ぐ為に作業用手袋を着用して下さい。

本製品は耐久性を考慮して厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理の元に製造されていますが、自動車の使用条件や製品本体周囲の状況が想定条件よりも悪いと耐久性が落ちる事があります。

自動車の排気部品は高温になります。枯れ草などの燃えやすい物の上にエンジンを動かしたままの駐停車、またはエンジン停止直後に駐停車すると火災の危険があります。必ず自動車の下に燃えやすい物等が無い事を確認してから停車、駐車して下さい。

自動車の安全整備はドライバーの法定責任です。定期点検整備は安全性と公害防止をはかる上で、必要不可欠です。日常の点検はもとより定期点検や定期部品交換は、必ず実施して下さい。
自動車部品の取り外しや取り付けの作業をする時は、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。バッテリーが接続されたまま作業を行って作業中に工具等が接触してショートしたりしますと、コンピューター等の電気部品が破壊されます。また、素手で作業をしていて触れたりしますと感電しますので危険です。
部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して安全に作業して下さい。(二柱リフトをお勧めします)ガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジトラック等を兼用して安全に作業を行って下さい。車載ジャッキでの作業は危険ですので絶対に行わないで下さい。
エキゾーストマニホールド、ターボチャージャー、フロントパイプなどの排気系に、オイル等の可燃物や洗浄用溶液がこぼれますと、車両火災を招く恐れもあります。
自動車の吸気関係や排気関係の部品は正しい取り扱いをしていても、自動車の使用状況や排気ガスの有害成分で部品の性能が劣化したり、製品が腐食して穴が開く場合があります。このような場合は、速やかに販売店や整備会社に相談して頂き、製品本来の性能が失われていたら新品に交換して下さい。性能が劣化した製品を放置したり腐食を放置したままにしますと、エンジンの吸入混合気や排気ガスが、エンジンルーム内や車体の下部などに漏れて火災の危険があると同時に、整備不良車運行で運転者が罰せられる事が有ります。
装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。
本取り扱い説明書を十分理解した上で作業を実施して下さい。
作業が終了しましたら、本取り扱い説明書と保証書を必ずお客様にお渡し下さい。
文中の純正品又はノーマルとは自動車メーカーの標準装着品の意味です。
結線およびアースは確実に行って下さい。アースの結線場所は、樹脂や塗装面を避けて金属面を選んで下さい。アース不良は、本製品の作動不良や製品破損の原因となります。
取り付け確認作業を怠り、取り付けが原因によるあらゆる過失に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
本製品の取り付け場所は、運転の支障にならない場所を選んで取り付けて下さい。万一、外れた場合でも運転の妨げにならない様に考慮して下さい。

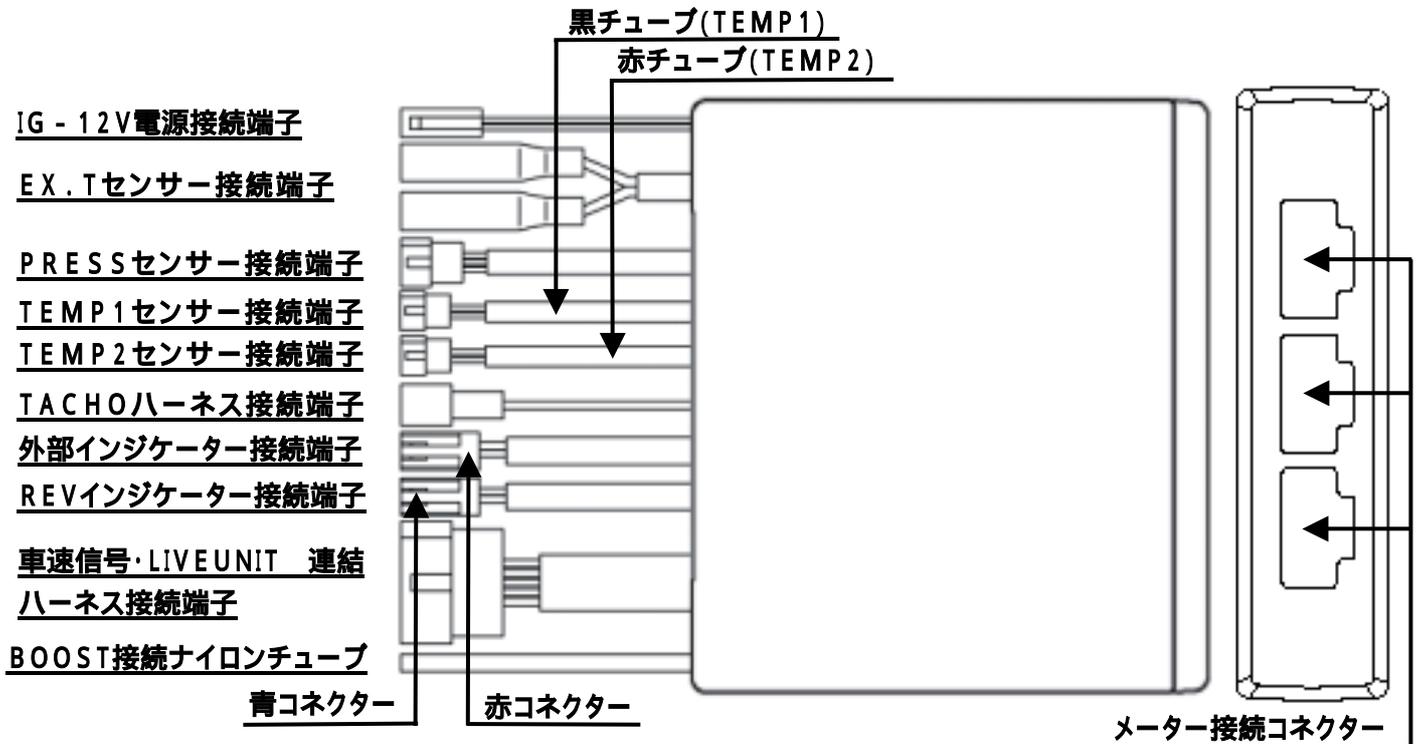
## 注意

バッテリーが接続されたまま作業を行って作業中に工具が接触してショートしたりしますと、コンピューター等の電気部品が破壊されます。また、素手で作業をしていて触れたりしますと感電しますので危険です。
コネクターの接続は確実に行って下さい。接触不良やショートの原因になります。
本製品の配線加工は絶対に行わないで下さい。正常に作動しなくなります。
本製品の故障及び異常が確認された場合は、直ちに御購入になられた販売店様もしくは弊社窓口までご連絡下さい。重大な損失を伴う場合がありますので、ご自分で修理や分解を行わないで下さい。
本製品の取り付けに関し、車両の内外装及び電装品の加工を伴いますが、この作業による物的損失はお客様の責任において行うものとし、当社は物的損失の責任を追うことは出来ませんので、取り付け作業を行う専門店様とお客様の了解の基に作業を進めるようにして下さい。
バッテリーのマイナス端子を外す事による損失(メモリーデータ消去等)に関して、当社は責任を負い兼ねますので、予め損失が予想される製品の取り扱い説明書を良くお読みになり、充分理解した上で作業を開始して下さい。

## 【 :取り付け説明】

### (LIVE UNIT の取り付け)

- ・レーシングメーターDC の取り付けには、ライブユニット が必要です。
- ・ライブユニット は2台連結させることが可能です。連結させることにより、接続している全メーターをリプレイリンクさせることが可能になります。(2台を連結しなくても個別には使用できます。ただし、その場合、2台間でのリプレイリンクはできません。)



### IG-12V電源接続端子への配線方法

ライブユニット に付属の電源ハーネスとエレクトロタップ(2ヶ)を使用します。

赤配線を、エレクトロタップ(1ヶ)を使用して、イグニッションONで12Vが確実にかかる配線に接続します。電圧の変動が大きい配線には接続しないで下さい。

黒配線を、エレクトロタップ(1ヶ)を使用して、確実にアースします。

で配線した電源ハーネスを、IG-12V電源接続端子に接続します。

- (a)ライブユニット 付属の、車速信号・LIVE UNIT 連結ハーネスの白線を、常時12Vに接続すると、IGNをOFFにしたときに、全てのメーターを初期指針位置に戻すことができます。(接続しない場合は、IG-OFFにしたときの指針位置で停止します。)
- (b)車速信号・LIVE UNIT 連結ハーネスの白線を常時12Vに接続したら、コネクターを車速信号・LIVE UNIT 連結ハーネス接続端子に確実に差し込んで下さい。

### PRESSセンサー接続端子への配線方法

- ・PRESS METERに付属のPRESSセンサー中間ハーネスを差し込みます。

### TEMP1センサー接続端子(黒チューブ)への配線方法

- ・TEMP METERに付属のTEMPセンサー中間ハーネスを差し込みます。

### TEMP2センサー接続端子(赤チューブ)への配線方法

- ・TEMP METERに付属のTEMPセンサー中間ハーネスを差し込みます。

TEMP METER1台でセンサーを2本接続する場合は、

「TEMP SENSOR SET ¥10000 コードNo.19210」を、別途ご購入下さい。

### BOOST接続ナイロンチューブへの配管方法

- ・ BOOST METERに付属の 4ナイロンチューブジョイントを差し込み、エンジンルームから室内に引き込んだ 4ナイロンチューブと結合させます。

### 車速信号・ライブユニット 連結ハーネス接続端子への配線方法

- ・ ライブユニット に付属の車速信号・ライブユニット 連結ハーネスを差し込みます。

### EX.Tセンサー接続端子への配線方法

- ・ EX.T/REV METERに付属の、EX.Tセンサーのハーネスを差し込みます。ハーネスが短い場合は、同キット付属の延長ハーネスを使用して下さい。その際、同じ色の配線に接続して下さい。

### TACHOハーネス接続端子への配線方法

- ・ EX.T/REV METERに付属の、TACHOハーネスを差し込みます。

### 外部インジケータ接続端子への配線方法

ワーニングインジケータセット内の、ワーニングインジケータ(レッド)のコネクターを差し込みます。

ライブユニット を連結させている場合は、ワーニングインジケータ(レッド)を点灯させたい項目のメーター・センサーを接続している側のライブユニット に取り付けて下さい。ワーニングインジケータ(レッド)を接続していない側のライブユニット で、ワーニング値に達したメーターがあった場合、ワーニングインジケータ(レッド)は点灯しません。

### REVインジケータ接続端子への配線方法

ワーニングインジケータセット内の、ワーニングインジケータ(ブルー)のコネクターを差し込みます。

ライブユニット を連結させている場合は、TACHOハーネスを接続している側のライブユニット に接続して下さい。

ライブユニット 本体の取り付けは、接続するメーターの配管、配線が全て終了してから最後に付属の両面テープを使用し、運転の妨げにならない所に貼り付けて下さい。

## 注意

配線の接続時には、サーキットテスターを使用し、電源やアースが確実に接続できている事を確認して下さい。

LIVE UNIT の取り付けは、前項の注意事項に従って正しく取り付けして下さい。

### (BOOST METERの取り付け)

スロットルバルブよりエンジン側の、インテークマニホールドもしくはサージタンク(負圧から正圧まで全ての圧力を検出できる場所)からの圧力を、付属の「Tパイプ」「ナイロンホース」「ナイロンホースジョイント」を使用して、LIVE UNIT 本体から出ている 4ナイロンホースに接続して、車内に引き込んで下さい。また、スロットルバルブ付近から配管されますと、正常な圧力が検出できない場合がありますので注意して下さい。インジェクション車両は、フューエルプレッシャーレギュレータのパキューム配管に、付属の「Tパイプ」を使用して接続する事をお勧めします。

メーター本体のハーネスをLIVE UNIT のメーター接続コネクターに接続します。接続位置の指定はありませんので、どのコネクターに接続してもBOOST値を表示します。ただし、ライブユニット を連結させる場合は、ブースト圧を引き込んでいる側のライブユニット にコネクターを接続して下さい。

## 注意

BOOST METERは電気式ですが、LIVE UNIT に圧力センサーを内蔵していますのでエンジンルームにセンサーを取り付ける必要はありません。

電源は全てLIVE UNIT より分配されますので、個別に配線をする必要はありません。

## (TEMP METERの取り付け)

### OIL TEMPとして使用する場合

- ・ 付属のTEMPセンサーを、オイルパンのオールドレンに取り付けます。取り付けの際は、メーターオプションパーツの「レーシングメーターDC専用TEMPフィッティング」(別売)を使用して取り付けて下さい。TEMPフィッティングの車種適合は、当社カタログで確認して下さい。
- ・ または、当社「オイルセンサーアタッチメント」(別売)を使用して取り付けて下さい。オイルセンサーアタッチメントの車種適合は、当社カタログで確認して下さい。

### WATER TEMPとして使用する場合

- ・ 付属のTEMPセンサーを、ラジエーターのアップパー側(市販のラジエーターアップパーホースアダプターを使用)もしくは、当社「クーリングパフォーマ」(別売)を使用して取り付けて下さい。クーリングパフォーマの車種適合は、当社カタログで確認して下さい。  
TEMPセンサーを取り付けたら、付属の中間ハーネスを使用しハーネスを車内へ引き込みます。  
LIVE UNIT のTEMPセンサー接続端子に、センサーの中間ハーネスを確実に差し込んで下さい。  
TEMP1・TEMP2のどちらでも接続は可能ですが、通常はTEMP1に接続するようにしておくと、分かりやすいです。  
メーター本体のハーネスを、LIVE UNIT のメーター接続コネクタに接続します。接続位置の指定はありませんので、どのコネクタに接続してもTEMP検知値を表示します。ただし、ライブユニット を連結させる場合は、TEMPセンサーを接続している側のライブユニット に、コネクタを接続して下さい。

### **注意**

TEMPセンサーを2本取り付ける場合は、ハーネスにテープを貼るなどしてTEMP1・TEMP2のどちらにどのセンサーが接続されているか識別できるようにして下さい。

TEMP1・TEMP2のメーター側の識別方法ですが、TEMP METERのMODEスイッチを押す毎に、グリーンLEDランプが点灯したり消灯したりします。消灯時がTEMP1のセンサー検知値を表示しており、点灯時がTEMP2のセンサー検知値を表示しています。

## (PRESS METERの取り付け)

### OIL PRESSとして使用する場合

- ・ エンジンブロックのオイルプレッシャーセンサー(純正装着部品)を外し、当社から発売されている「アタッチメントオイルデリバリー」(品番73103 別売¥950)を使用して、純正のオイルプレッシャーセンサーとメーター付属のPRESSセンサーを取り付けます。純正オイルプレッシャーセンサーの取り外しは、自動車メーカーの整備書又は修理書を参照して下さい。車両によってはPRESSセンサーの取り付けが困難な場合があります。その場合は、「油圧アダプターセット」(品番19551別売¥5,000)を使用し、PRESSセンサーを別の位置に取り付けるようにして下さい。
- ・ または、当社「オイルセンサーアタッチメント」(別売)を使用して取り付けて下さい。オイルセンサーアタッチメントの車種適合は、当社カタログで確認して下さい。

### FUEL PRESSとして使用する場合

- ・ 当社から発売されている「燃圧アダプターセット」(品番19559 別売¥5,000)を使用して取り付けて下さい。  
PRESSセンサーを取り付けたら、付属の中間ハーネスを使用し、ハーネスを車内へ引き込みます。  
ライブユニット のPRESSセンサー接続端子にセンサーの中間ハーネスを確実に差し込んで下さい。  
メーター本体のハーネスをライブユニット のメーター接続コネクタに接続します。接続位置の指定はありませんので、どのコネクタに接続してもPRESS検知値を表示します。ただし、ライブユニット を連結させる場合は、PRESSセンサーを接続している側のライブユニット に、コネクタを接続して下さい。

### (SPEED / POWER METERの取り付け)

- ・「SPEED / POWER METER」を使用することにより、速度リミッタ - カットができるようになります。ただし、一部の車両では、速度リミッタ - カットできませんので、ご注意ください。

#### 速度リミッタ-カットする場合

- ・車両のECU車速信号線を、カットして下さい。付属のエレクトロタップ(1ヶ)を使用して、車速信号・LIVE UNIT 連結ハーネスの橙線を、カットしたECU車速信号線の車速センサー側に、接続して下さい。付属のエレクトロタップ(1ヶ)を使用して、ライブユニット キット内に付属の車速信号・LIVE UNIT 連結ハーネスの茶線を、カットしたECU車速信号線のECU側に、接続して下さい。車速信号線の位置は、車両により異なります。付属のECU配線図集に従って下さい。  
一部の車両に関しては、速度リミッタ - カットできませんのでご注意ください。

#### 速度リミッタ-カットしない場合

- ・付属のエレクトロタップ(1ヶ)を使用して、車速信号・LIVE UNIT 連結ハーネスの橙線を、ECU車速信号線に又取りして下さい。車速信号線の位置は、車両により異なります。付属のECU配線図集に従って下さい。茶線は、確実に絶縁して下さい。

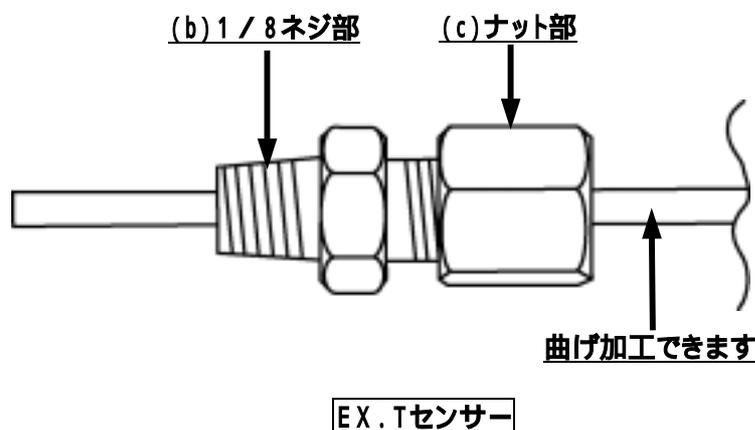
車速信号・LIVE UNIT 連結ハーネスを、ライブユニット の車速信号・LIVE UNIT 連結ハーネス接続端子に、確実に差し込んで下さい。

メーター本体のハーネスを、LIVE UNIT のメーター接続コネクタに接続します。接続位置の指定はありませんので、どのコネクタに接続しても車速・馬力検知値を表示します。ただし、ライブユニット を連結させる場合は、車速信号・LIVE UNIT 連結ハーネスを接続している側のライブユニット に、コネクタを接続して下さい。

### (EX.T / REV METERの取り付け)

#### EX.T センサーの取り付け

- エキゾーストの集合部分に穴をあけ、1 / 8 PTのネジ加工をします。
- EX.Tセンサー部のテープを外し、加工したネジ部に、EX.Tセンサージョイントの1 / 8 PTネジ部を、ねじ込みます。
- EX.Tセンサージョイントにナット部を締め付けて固定します。
- EX.Tセンサーの 3部分は、曲げ加工できます。EX.Tセンサー固定後、スペースに応じて、ナット部後で曲げ加工して下さい。その際、折れ等には、十分注意して下さい。
- EX.Tセンサーハーネスを室内に引き込みます。状況に応じて、延長ハーネスを使用して下さい。
- ライブユニット のEX.Tセンサー接続端子に、センサーハーネス、または、延長ハーネスを確実に差し込んで下さい。



## REV METERの取り付け

- (a) ライヴユニット に付属のエレクトロタップ(1ヶ)を使用して、EX.T/REV METERに付属のTACHOハーネスを、車両の回転数信号線に又取りして下さい。回転数信号線の位置は、付属のECU配線図集に従って下さい。
- (b) ライヴユニット のTACHOハーネス接続端子に、ハーネスコネクターを確実に差し込んで下さい。ライヴユニット を連結させる場合は、EX.TセンサーとTACHOハーネスは、同じライヴユニットに接続して下さい。

メーター本体のハーネスをライヴユニット のメーター接続コネクターに接続します。接続位置の指定はありませんので、どのコネクターに接続してもEX.T・回転数検知値を表示します。ただし、ライヴユニット を連結させる場合は、EX.TセンサーおよびTACHOハーネスを取り付けている側のライヴユニット にコネクターを接続して下さい。

## (LIVE UNIT 連結)

ライヴユニット に付属の車速信号・LIVE UNIT 連結ハーネスの緑線と黄線(2組)を接続します。

IG - 12V電源およびアースは、それぞれ接続して下さい。

ライヴユニット に付属の、車速信号・LIVE UNIT 連結ハーネスの白線を常時12Vに接続すると、IGNをOFFにしたときに全てのメーターを0位置に戻すことができます。接続しない場合は、IG - OFFにしたときの指針位置で停止します。

橙・茶線は、SPEED / POWER METER用の配線です。SPEED / POWER METERを使用しない場合は使用しません。

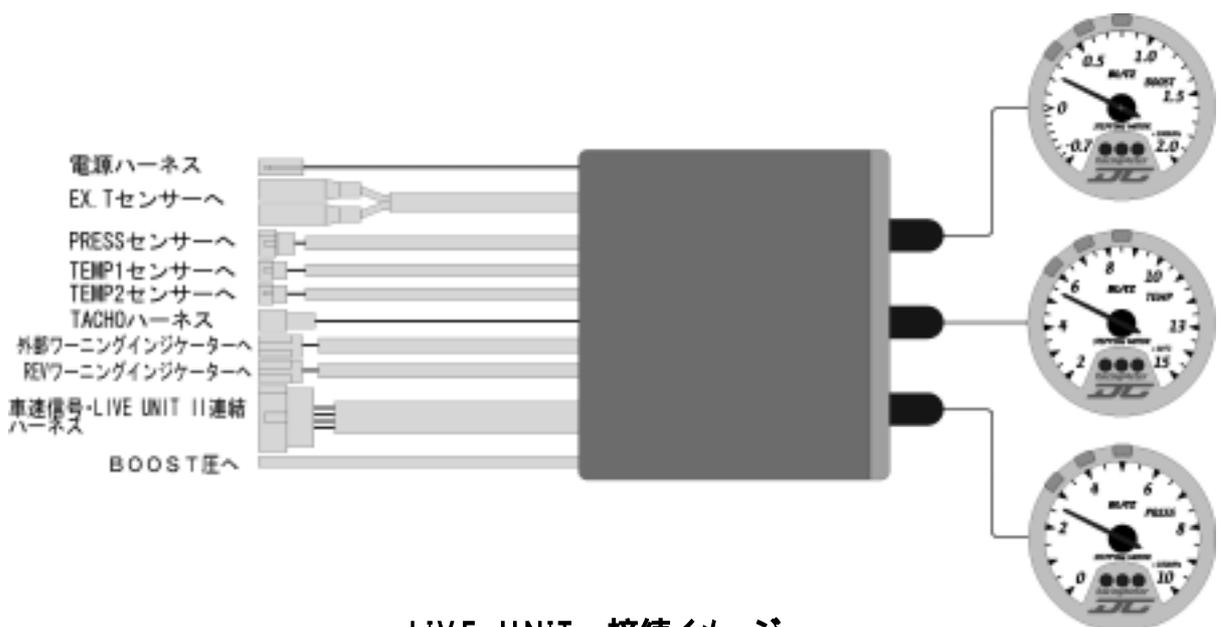
## (ワーニングインジケータースセット取り付け)

ライヴユニット の外部ワーニングインジケータース接続端子(赤コネクター)に、ワーニングインジケータース(レッド)のコネクターを差し込みます。

ライヴユニット のTACHOワーニングインジケータース接続端子(青コネクター)に、ワーニングインジケータース(ブルー)のコネクターを差し込みます。

両面テープ剥離紙を剥がして、インジケータースを取り付けます。

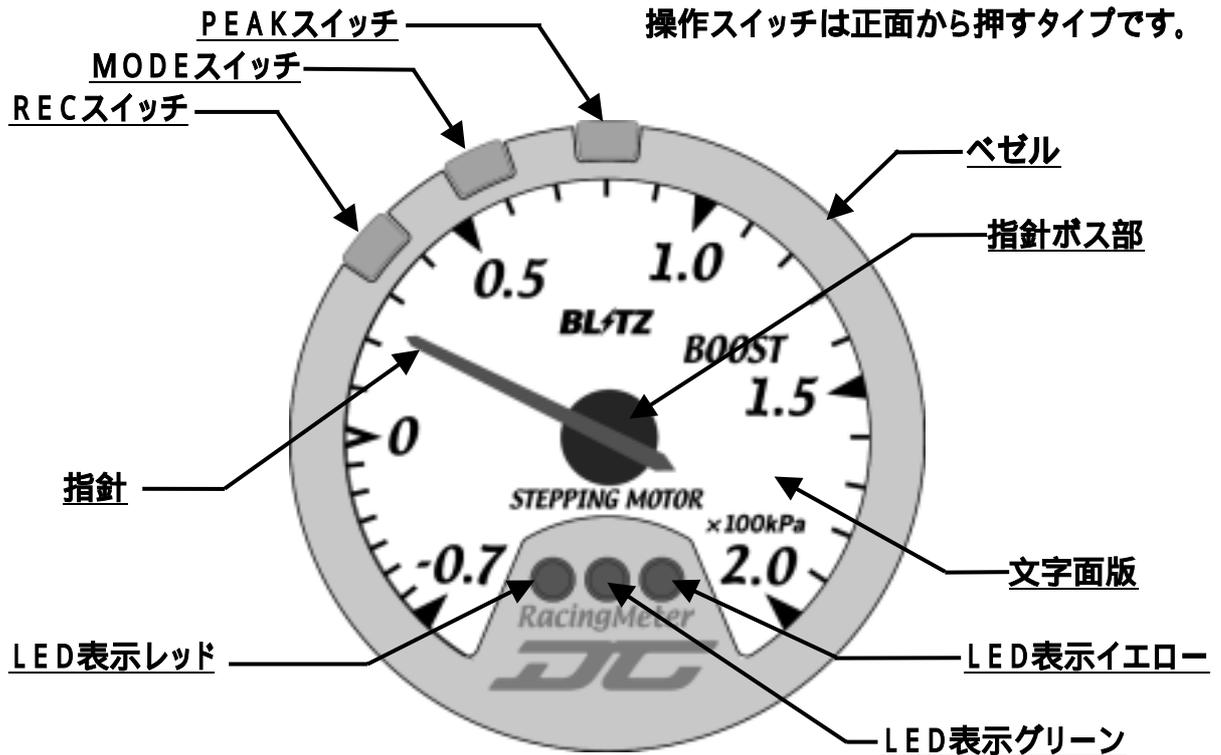
インジケータースは、視界や運転操作の邪魔にならない場所に、取り付けして下さい。



LIVE UNIT 接続イメージ

## 【 :操作説明】

(メーター各部の名称)



(レーシングメーターDCの機能)

**指針の表示モード選択機能**

「MODEスイッチ」を押す毎に、3タイプの指針の表示モードを切り替えることができます。

(POWER METER、REV METERは、リアルモードとパッシングホールドモードのみです。TEMP METER、SPEED METER、EX.T METERは、リアルモードのみです。)

**ピーク表示**

「PEAKスイッチ」を押すと、PEAK値表示をします。

**ワーニング機能**

任意に設定したワーニング値を越えると、レッドLEDが点灯し警告します。

**レコード/リプレイ機能**

各検知値を、約99秒間、レコード・リプレイすることができます。

**リプレイリンク機能**

複数のメーターを接続した時、どれか1台のメーター操作で全てのメーターのレコード・リプレイを行う事が出来ます。

**輝度調整機能**

LEDバックライト照明の輝度を調整することができます。

## (各機能操作説明)

### :各メーター共通機能

#### 指針の表示モード選択機能

(POWER METER、REV METERは、リアルモードとパッシングホールドモードのみです。TEMP METER、SPEED METER、EX.T METERは、リアルモードのみです。)

- (a)「MODEスイッチ」を押す毎に、指針の表示が「リアル」「ディレイ」「パッシングホールド」「リアル」の順に切り替わります。(押し続けるとワーニング設定モードになります)
- (b)TEMP METERは、「MODEスイッチ」を押す毎に、「TEMP1」「TEMP2」の順に切り替わります。
- (c)SPEED / POWER METERは、「MODEスイッチ」を押す毎に、「車速リアル」「馬力リアル」「馬力パッシングホールド」の順に切り替わります。  
切り替え終了後、通常表示モード時は、速度表示されているときはグリーンLED消灯、馬力表示されているときはグリーンLED点灯です。
- (d)EX.T / REV METERは、「MODEスイッチ」を押す毎に、「排気温度リアル」「エンジン回転数リアル」「エンジン回転数パッシングホールド」の順に切り替わります。  
切り替え終了後、通常表示モード時は、排気温度表示されているときはグリーンLED消灯、回転数表示されているときはグリーンLED点灯です。
- (e)グリーンLED1回点滅:リアルモード  
(アイドリング時の微妙な圧力の変化にも対応する敏感な表示をします。)  
(SPEED / POWER METERは、車速リアルモードです。)  
(EX.T / REV METERは、排気温度リアルモードです。)
- (f)グリーンLED2回点滅:ディレイモード  
(ステッピングモーター特有のデジタル的な表示をします。)  
(SPEED / POWER METERは、馬力リアルモードです。)  
(EX.T / REV METERは、エンジン回転数リアルモードです。)
- (g)グリーンLED3回点滅:パッシングホールドモード  
(リアルモードの敏感な表示に、2.4秒間のピークホールド表示をさせる事により、走行中の表示確認が容易になります。)  
(SPEED / POWER METERは、馬力パッシングホールドモードです。)  
(EX.T / REV METERは、エンジン回転数パッシングホールドモードです。)

### ピーク表示機能

- (a) 「PEAKスイッチ」を押すと、イエローLEDが点灯しピーク値を表示します。
- (b) 再度「PEAKスイッチ」を押すと元の表示に戻ります。
- (c) ピーク値のリセットは、ピーク値表示中に「PEAKスイッチ」を1秒間押しとリセットされます。リセット後もピーク表示モードになっていますので、ピーク値を表示したままの走行も可能です。再度「PEAKスイッチ」を押すと元の表示に戻ります。
- (d) ピーク値は常に更新されており、その値はIG - OFF後もメモリーにより保持されます。
- (e) 「TEMP METER」1台でセンサーを2本接続している場合、「TEMP1」・「TEMP2」検知値の、どちらか高い方を、表示します。
- (f) 「SPEED / POWER METER」・「EX.T / REV METER」は、ピーク値表示中のモード切り替えは、できません。



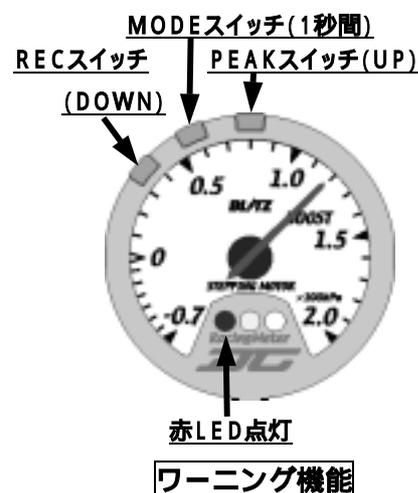
### ワーニング機能

- (a) 「MODEスイッチ」を1秒間押すと、レッドLEDが点灯と同時に指針がワーニング値を指示して、ワーニング設定モードになります。(押し続けると輝度調整モードになります。)
- (b) 調整方法は、「PEAKスイッチ」を押すと指針が上昇し「RECスイッチ」を押すと下降します。
- (c) ワーニング機能をOFFにしたい場合は、設定値を最小値(「RECスイッチ」を押して指針が最左を指示した状態)にして下さい。
- (d) 再度「MODEスイッチ」を押すと、元の表示に戻ります。
- (e) 「PRESS METER」は、ワーニングの上限値と下限値を個別に設定することが出来ます。操作方法は同じですが、最初に上限値の設定を行った後「MODEスイッチ」を押すと下限値の設定モードになります。どちらか片方の設定にしたい場合は、設定を必要としない方の設定値を最小値(OFF)にして下さい。上限値と下限値をクロスして設定した場合は、ワーニングを警告するレッドLEDが点灯したままになります。
- (f) 「SPEED / POWER METER」は、操作方法は同様ですが、「SPEED METER」ワーニング値入力後に「MODEスイッチ」を押すと、「POWER METER」ワーニング値設定モードになります。再度「MODEスイッチ」を押すと、ワーニング値設定が終了します。

また、通常表示モード時は、現在表示している検知値が、設定したワーニング値に達した時のみ、レッドLEDが点灯します。

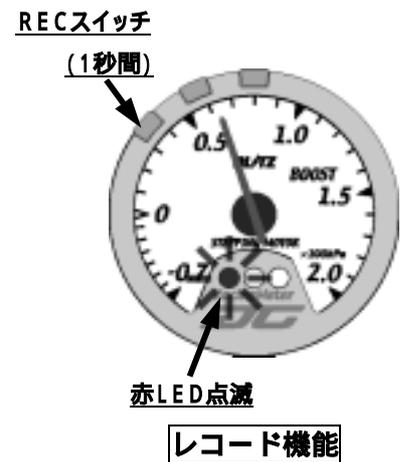
- (g) 「EX.T / REV METER」は、操作方法は同様ですが、「EX.T METER」ワーニング値入力後に「MODEスイッチ」を押すと、「REV METER」ワーニング値設定モードになります。再度「MODEスイッチ」を押すと、ワーニング値設定が終了します。

また、通常表示モード時は、現在表示している検知値が、設定したワーニング値に達した時のみ、レッドLEDが点灯します。



### レコード機能

- (a) 「RECスイッチ」を1秒間押すと、レッドLEDが点滅し、レコード機能が始まります。(押し続けるとリプレイモードになります。)
- (b) 最大記録時間は約99秒間です。記録終了10秒前になるとレッドLEDの点滅が早くなり、終了が近いことを知らせます。
- (c) 記録時間が満了すると、レッドLEDが消灯して自動的に記録を終了し、元の表示に戻ります。
- (d) 記録中に「RECスイッチ」を押すと、記録が停止します。
- (e) 記録されたデータは、記録が上書きされるまで保持しています。
- (f) 記録中に電源をOFF(IG - OFF)すると、記録データは消去されてしまいます。



### リプレイ機能

- (a) 「RECスイッチ」を3秒間押し続けると、グリーンLEDが点滅して記録したデータのリプレイが始まります。(リプレイ時の指針表示モードは、現在選択中の表示モードでリプレイされます。)
- (b) リプレイ中に「MODEスイッチ」を押して、リプレイ速度を2倍速で確認することが出来ます。「MODEスイッチ」を放すと、通常の色に戻ります。
- (c) リプレイ時の指針表示モードを選択することが可能です。記録した時の指針表示モード以外のモードでリプレイをすることが出来ます。(リプレイの途中で変更することは出来ません。)
- (d) リプレイ中のモード切替はできません。
- (e) リプレイ中に「PEAKスイッチ」を押すと、リプレイが停止します。



### リプレイリンク機能

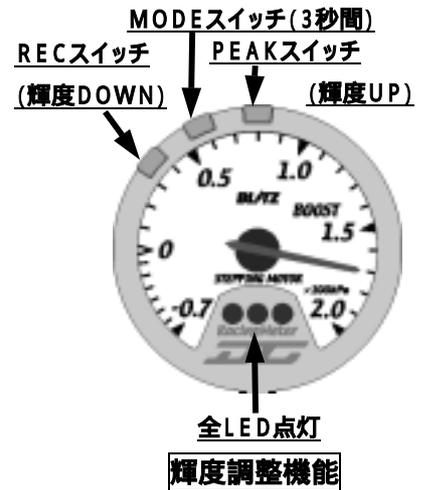
- (a) ライヴユニット に複数のメーターが接続されている場合、また、ライヴユニット を連結させている場合、どのメーターからでも接続された全てのメーターのレコードとリプレイ操作を同時に行うことが出来ます。
- (b) 指針の表示モードは、各メーターで行って下さい。
- (c) ワーニング機能、ピーク値表示機能は連動されておりませんので、各メーターで操作して下さい。

ライヴユニット 2台を連結させていない場合は、2台間でのリプレイリンクは、行いません。

TEMP METERが2台接続されている場合にセンサーの表示値が重複されていると、リプレイリンク機能が正常に作動しません。この場合は、必ず1つのセンサーに対して1台のメーターが表示するように設定して下さい。

### 輝度調整機能

- (a) 「MODEスイッチ」を3秒間押すと、全LEDが点灯して指針が輝度値を指示し輝度調整モードになります。(「MODEスイッチ」を押し続けるとワーニング値を指示しますが、更に押し続けると輝度調整モードになります。)
- (b) 調整方法は、「PEAKスイッチ」を押すと指針が上昇しLED照明が明るくなります。「RECスイッチ」を押すと指針が下降しLED照明が暗くなります。消灯にはなりません。
- (c) 輝度調整機能は、レッド、グリーン、イエローの表示LEDには反映されません。
- (d) 再度「MODEスイッチ」を押すと、元の表示に戻ります。



### TEMP METER

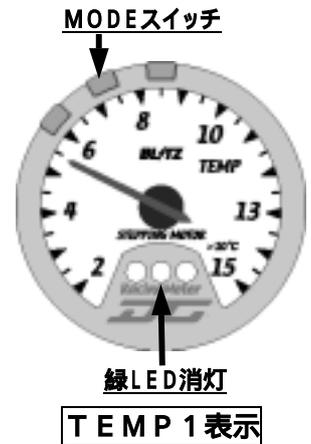
TEMP METERのライブユニットへのTEMPセンサーの接続は、ライブユニットから出ている接続端子の黒チューブ側がTEMP1、赤チューブ側がTEMP2の接続端子になります。

TEMP METER1台でセンサーを2本接続している場合の、TEMP1・TEMP2表示切り替えは「MODEスイッチ」で行います。表示確認方法は、「MODEスイッチ」を押す毎にグリーンLEDが点灯と消灯を繰り返しますので、消灯時がTEMP1センサー検知値、点灯時がTEMP2センサー検知値を表示しています。各センサーの車両側接続箇所は、各センサーの配線などにマーキングをして認識できるようにしておくと、後で迷うことがなくなりますので、必ず認識が出来る様にして下さい。

TEMP METER1台でセンサーを2本接続している場合のピーク値は、TEMP1・TEMP2検知値のどちらか高い方の上限値を指示します。

TEMP METER1台でセンサーを2本接続している場合、ワーニング設定値を個別に設定することが出来ません。設定したワーニング値はTEMP1・TEMP2どちらにも反映されます。TEMP METER1台でセンサーを2本接続している場合のリプレイ機能は、表示設定されていない方のセンサー検知値も記録されていますので、TEMP1・TEMP2の表示切り替えを行えば両方の記録データをリプレイすることが出来ます。

TEMP METERを2台接続している場合は、必ずメーター側の表示設定がTEMP1(グリーンLED消灯)・TEMP2(グリーンLED点灯)になるように、個別表示設定をして下さい。表示設定するメーターは2台の内、どちらでも可能です。TEMP METER2台が同じセンサーの検知値を表示している場合(例えば、TEMP1センサー検知値を2台のTEMP METERが表示している場合)、リプレイリンク機能が正常に作動しませんので注意して下さい。(検知値の表示は可能です。)



## SPEED / POWER METER

### 表示モード選択

「SPEED / POWER METER」の表示モードは、「MODEスイッチ」により切り替えができ、グリーンLEDで確認できます。

速度リアルモード: グリーンLED 1回点滅後消灯

馬力リアルモード: グリーンLED 2回点滅後点灯

馬力パッシングホールドモード: グリーンLED 3回点滅後点灯

通常表示モード時は、速度表示されているときはグリーンLED消灯、馬力表示されているときはグリーンLED点灯です。

### 車速パルス信号、車速キャリブレーション設定

車両側の車速パルス信号値と、「SPEED / POWER METER」の車速検知値が、一致していないと、正確な車速表示や馬力表示ができません。予め、車両の車速パルス信号値が明確な場合は、車速パルス信号を選択すれば車速キャリブレーションを行う必要はありませんが、不明な場合やズレが生じている場合は、車速キャリブレーションを行って下さい。

「PEAKスイッチ」を押しながらIG - ONにすると、指針デモンストレーション後、レッドおよびグリーンLEDが点滅し、車速キャリブレーションモードになります。指針は、40km/hを指します。車速キャリブレーション設定の選択は、「PEAKスイッチ」を押す毎に、40km/h 80km/h 2P(パルス) 4P(パルス) 8P(パルス) 16P(パルス)と変化します。「RECスイッチ」を押す毎に、逆に変化します。

車両の車速パルスが明確な場合は、その車両に合ったパルス信号値に設定して下さい。設定方法は、選択したパルス信号値を指針が指している状態で、「MODEスイッチ」を押して下さい。車速キャリブレーションモードが終了します。

この場合、実走する必要はありませんが、より正確な値を求められる場合は、40km/h、または、80km/hにて、車速キャリブレーションを行って下さい。特に、高速走行を基本とする場合は、80km/hでの、車速キャリブレーションを行うことをお勧めします。

車速パルスを選択せずに「40km/h」・「80km/h」を選択した場合は、車速キャリブレーションが始まります。

車速キャリブレーションの設定方法は、「SPEED / POWER METER」指針が、「40km/h」、または、「80km/h」を指している状態で走行させ、車載スピードメーターがその速度になったら、「MODEスイッチ」を押して下さい。車速キャリブレーションモードが終了します。

走行中、車載スピードメーターと、表示に若干の相違が出る場合がありますが、故障ではありません。ただし、相違が著しい場合は、車速キャリブレーションを再度行って下さい。

### 車速パルス設定

PERKスイッチ  
押しながらIG - ON



赤・緑LED  
点滅



PERKスイッチ  
押し毎にUP  
スイッチ  
押し毎にDOWN



MODEスイッチを押すと、  
車速パルス選択終了  
もしくは、車速キャリブレーション開始

車速を合わせて、  
MODEスイッチ押す



### 車速キャリブレーション

## 車重入力、駆動方式、走行抵抗の入力

「SPEED / POWER METER」は、車速信号を検知し、加速度によって馬力の演算を行っています。そのため、車両重量・駆動方式・走行抵抗により、表示される馬力値が変化しますので、これらの値を正確に入力しないと、正確な馬力測定を行うことが出来ません。必ず設定して下さい。

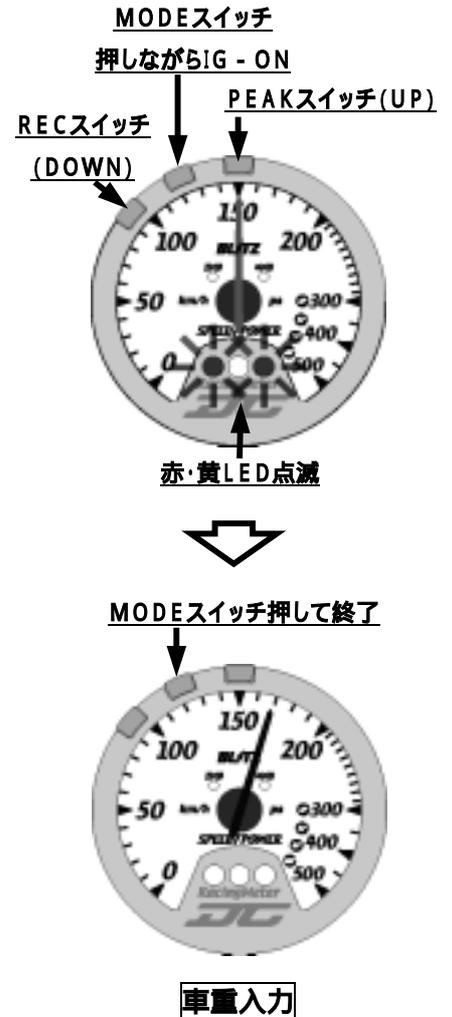
### 車重入力

- (a) 「MODEスイッチ」を押しながらIG - ONにすると、指針デモンストレーション後、レッドおよびイエローLEDが点滅し、指針が車重を指して、車重入力モードになります。例えば、1500kgであれば、150km/hを指します。
- (b) 「PEAKスイッチ」を押すと増加、「RECスイッチ」を押すと減少します。
- (c) 車重を設定した後、「MODEスイッチ」を押すと車重入力モードが終了します。

設定する車両重量の目安は、車検証に表示されている車両重量に、運転手の体重、同乗者の体重、ガソリン重量、その他装備品の重量を加算したものです。コーナウエイトゲージなどを使用して車両重量を計測すると、より正確な値が入力できます。

ガソリン重量や装備品重量などが良く分からない場合は、車検証に表示されている車両重量を1.1倍したものを、入力して下さい。ただし、この場合、表示される値は、目安程度であることをご了承下さい。入力した車両重量が実際の重量よりも少ないと馬力も少なく表示され、実際の重量よりも多い場合は、馬力も多く表示されます。

車両が走り始めたとき、ホイールスピン発生時の異常馬力を除去するために、馬力値はしばらく[0ps]を示します。

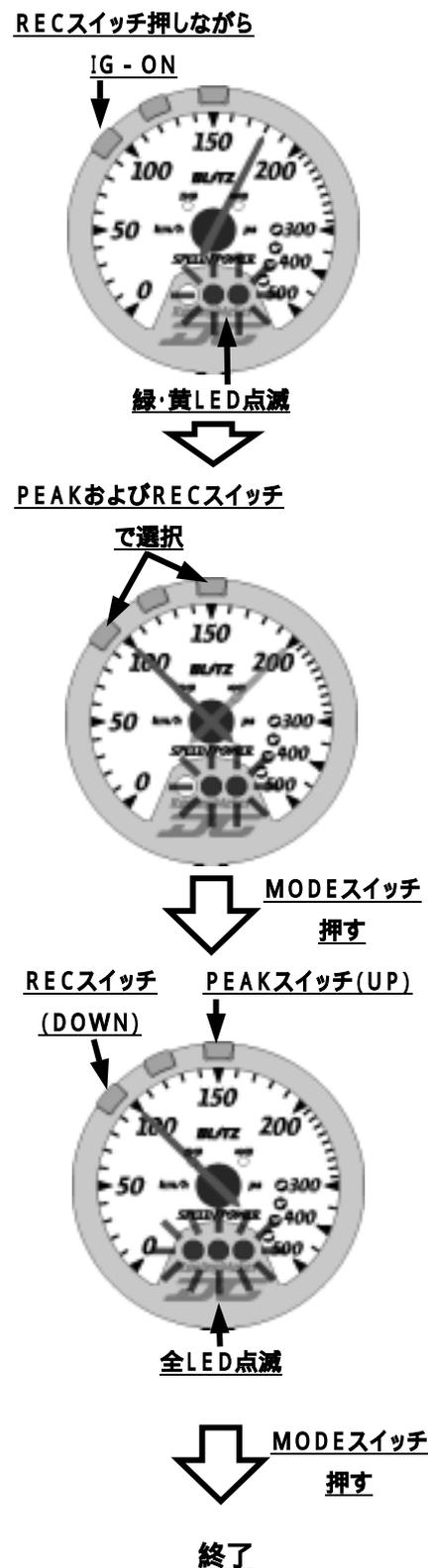


## 駆動方式選択・走行抵抗補正係数入力

- (a) 「RECスイッチ」を押しながらIG - ONすると、指針デモンストレーション後、グリーンおよびイエローLEDが点滅し、指針が駆動方式を指して、駆動方式選択モードになります。駆動方式は2WDなら2WD目盛り(100km/h目盛り)、4WDなら4WD目盛り(200km/h目盛り)を指します。
- (b) 駆動方式は「PEAKスイッチ」と「RECスイッチ」で指針を動かして変更して下さい。  
NISSAN SKYLINE GT-R 等のトルクスプリットタイプの4WD車両については、2WDに設定して下さい。
- (c) 次に、「MODEスイッチ」を押すと、駆動方式選択モードが終了し、走行抵抗補正係数入力モードになります。このとき、全LEDが点滅を始め、指針は走行抵抗補正係数相当値を指します。
- (d) 「PEAKスイッチ」を押すと指針値が増加し、「RECスイッチ」を押すと指針値は減少します。
- (e) 走行抵抗補正係数は、「-10」~「+30」を設定できます。指針が「100km/h」を指しているとき、走行抵抗補正係数は「0」です。また、指針が「10km/h」変化すると、走行抵抗補正係数は「1」変化します。よって、係数「0」=「100km/h」目盛りを基準とし、係数「-10」=「0km/h」目盛り、係数「+30」=「400km/h」目盛りとなります。走行抵抗補正係数は、次ページの「走行抵抗補正係数一覧表」を参考にして設定して下さい。
- (f) 設定後、「MODEスイッチ」を押すと、駆動方式選択・走行抵抗補正係数入力モードが終了します。

「走行抵抗補正係数一覧表」は、ノーマル車両を基準に算出していますので、タイヤの扁平率拡大による摩擦係数の増加やエアロパーツ装着による空気抵抗の低減などで変化します。設定数値が小さい値だと、走行抵抗が少ないと判断されるためロス馬力が少なく表示されます。設定数値が大きくなると、走行抵抗が増加したと判断されるためロス馬力が多く表示されます。走行抵抗補正係数一覧表に適合する車型がない場合は、ボディタイプ・排気量などが同様な車型の数値を入力して下さい。

## 駆動方式・走行抵抗補正係数入力



走行抵抗補正係数一覧表

種別	車種	補正係数
軽自動車	カプチーノ・ミラ・アルト・AZワゴン	- 2
1000cc以下のミニバン	ムーブ・ワゴンR・ライフ・ブレオ・トッホBJ	+ 1
1000cc～1600ccのNA車	マーチ・キューブ・パルサー(一部)・レビン・トレノ・カロラセレス・スプリンターマリノ・カロラFX・シビック・CR-X・インテグラ ユーノスロードスター・ミラージュ	- 2
1600cc以上のターボ車 3000cc以下のスポーツ車	ソアラ・アリスト・マーク・70スーパー・MR2・セリカ・カレン MRS・アルテッツァ・スカイライン・シルビア・180SX・ローレル セフィーロ・ブルーバード・フェアレディーズ・ GTO・FTO・ランサー・エクリプス・ギャラン・NSX・S2000 ユーノスコスモ・RX-7・ファミリア・インプレッサ・ジェミニ	0
セダン系	セルシオ・クラウン・カリナ・コナ・カロラ・スプリンター・カムリ ウイングダム・シーマ・セドリック・グロリア・レバード系・ローレル(NA) セフィーロ(NA)・プリメーラ・ブルーバード(NA)・ランサー(NA) ダイヤモンド・ギャラン・レジェンド・インスパイア・アコード レガシセダン・スターレット(ターボ)	+ 2
ステーションワゴン系	カルティナ・bB・ファンカーゴ・セフィーロワゴン・ステージア プリメーラワゴン・アベニール・ウイングロード・レグナム・リベロ アコードワゴン・カペラワゴン・アテンザワゴン レガシワゴン・インプレッサワゴン・フォレスター	+ 2
ミニバン系	エスティマ・ノア・ヴォクシー・イブサム・スパシオ・ガイア・ナディア RAV4・ブレスージュ・ハッサ・セレナ・リバティー・ティーノ・MPV RVR・シャリオグランディス・プレマシー・オデッセイ・ステップワゴン SM-X・HR-V・ストリーム	+ 3
SUV系	グランビア・ハリヤー・グランゴハイエース・アルファード・エルグランド	+ 5
RV系	ランドクルーザー・プラド・ハイラックス・パジェロ・ビッグホーン	+ 8
その他	80スーパー	- 5
	ウイッツ	- 6

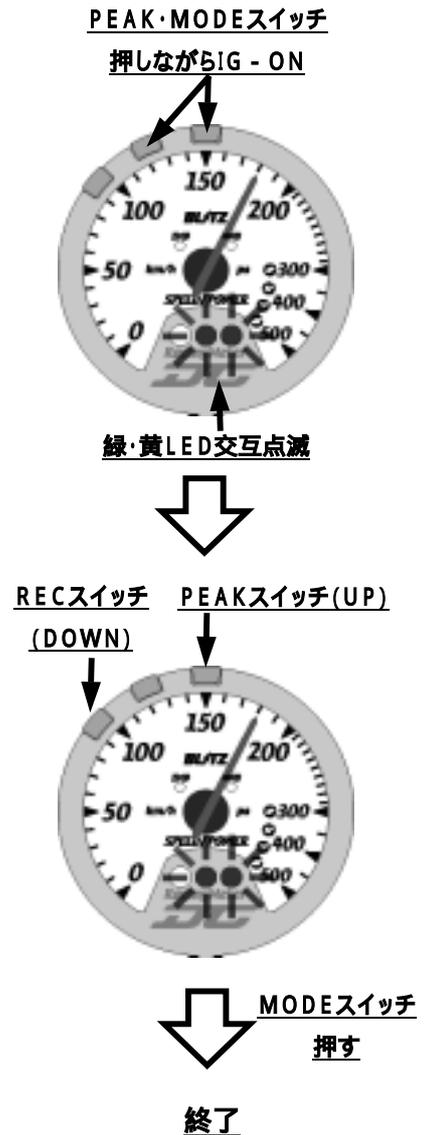
## スピードリミッター解除設定

- ・ 初期設定値は170km/hに設定されていますが、車両により制御する速度域が異なりますので、速度域の設定が必要です。(スピードリミッターが作動する速度よりも、若干低い値を入力して下さい。)
  - ・ 車速信号・LIVE UNIT 連結ハーネスの茶線を接続していない場合や、スピードリミッターカットをしない場合は、設定する必要はありません。
  - ・ 一般公道を走行する場合、スピードリミッターの解除は絶対に行わないで下さい。本製品のスピードリミッター解除機能はクローズドサーキットなどでの使用を目的とした機能です。
- (a)「PEAKスイッチ」と「MODEスイッチ」を押しながらIG - ONすると、指針デモンストレーション後、グリーンおよびイエローLEDが交互に点滅し、指針がスピードリミッター解除速度を指し、スピードリミッター解除設定モードになります。
- (b)スピードリミッター解除速度は、「PEAKスイッチ」と「RECスイッチ」で指針を動かして変更します。「PEAKスイッチ」で増加、「RECスイッチ」で減少します。目盛りの最小値に設定するとスピードリミッター解除はOFFになります。
- (c)「MODEスイッチ」を押すとスピードリミッター解除設定モードが終了します。

**注意** 一部車両でスピードリミッター解除が出来ない場合があります。

**警告** スピードリミッター解除の確認は、一般公道では行わないで下さい。又、専門の知識を持った専門店で行って下さい。

## 駆動方式・走行抵抗補正係数入力



## :EX.T/REV METER

### 表示モード選択

「EX.T/REV METER」の表示モードは、「MODEスイッチ」により切り替えができ、グリーンLEDで確認できます。

排気温度リアルモード: グリーンLED1回点滅後消灯

回転数リアルモード: グリーンLED2回点滅後点灯

回転数パッシングホールドモード: グリーンLED3回点滅後点灯

通常表示モード時は、排気温度表示されているときはグリーンLED消灯、回転数表示されているときはグリーンLED点灯です。

### エンジン回転数キャリブレーション

正確なエンジン回転数を検知させるために、必ず設定して下さい。

「RECスイッチ」を押しながらIG-ONにすると、3気筒車(6気筒車)、「MODEスイッチ」を押しながらIG-ONにすると、4気筒車設定になります。

「PEAKスイッチ」を押しながらIG-ONにすると、レッドおよびグリーンLEDが点滅を始め、指針が3000rpmを指し、エンジン回転数キャリブレーションモードになります。

エンジン回転数を3000rpmに保ち、「MODEスイッチ」を押すとエンジン回転数キャリブレーションモードが終了します。

走行中、車載タコメーターと、表示に若干の相違が出る場合がありますが、故障ではありません。ただし、相違が著しい場合は、エンジン回転数キャリブレーションを再度行って下さい。

## :ワーニングインジケータ

### ワーニングインジケータ(ブルー)

「EX.T/REV METER」が、通常表示モード時に「EX.T METER」表示であっても、設定したエンジン回転数になると、点灯します。

「EX.T/REV METER」を接続しない場合は点灯しません。ライヴユニット を連結させている場合は、「EX.T/REV METER」を接続している側のライヴユニット に、接続して下さい。

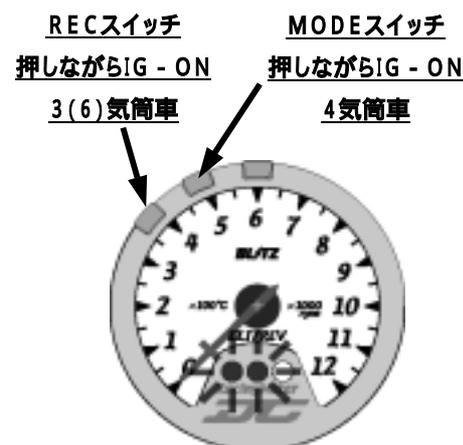
### ワーニングインジケータ(レッド)

接続しているメーターのどれかがワーニング値に達したときに、点灯します。(ライヴユニット を連結させている場合を除く。)

「SPEED/POWER METER」・「EX.T METER」は、通常表示モードで表示させている方の検知値が、設定ワーニング値に達した時に、点灯します。

ライヴユニット を連結させている場合は、ワーニングインジケータ(レッド)を点灯させたい項目のメーターを接続している側のライヴユニット に取り付けて下さい。ワーニングインジケータ(レッド)を接続していない側のライヴユニット で、ワーニング値に達したメーターがあった場合は、ワーニングインジケータ(レッド)は点灯しません。

IG-ONで指針デモンストレーション後、インジケータLEDが一瞬点灯します。接続ミス・ランプ切れをチェックすることができます。



**(操作と表示に関する注意事項)**

レーシングメーターDCの操作は、全てベゼル部にある「REC」「MODE」「PEAK」の3つのスイッチで行います。

指針の表示モードは、切り替え時のグリーンLED点滅回数で確認して頂くことになります。表示中は指針の動き方で確認して下さい。

IG - ONにすると、指針のデモンストレーションが始まります。メーター側でワーニング値を設定すると、通常表示になる前にワーニング設定値を指示し、事前に確認することが出来ます。

**(「BOOST METER」指針0位置調整)**

ブーストメーターの初期指針位置が「0」からズレている時は、以下の方法で調整して下さい。

(a)「BOOST METER」の「PEAKスイッチ」および「RECスイッチ」を押しながらIG - ONします。この時、全LEDが点灯します。

(b)「PEAKスイッチ」(増加)と「RECスイッチ」(減少)で指針位置を調整します。

(c)調整後、「MODEスイッチ」を押すと調整完了です。

**(スイッチ基本操作説明早見表)**

機能・設定	表示内容	切り替え方法	LED表示
指針表示選択機能 ・BOOST METER ・PRESS METER	リアルモード ディレイモード パッシングホールドモード	MODEスイッチ	グリーンLED1回点滅 グリーンLED2回点滅 グリーンLED3回点滅
指針表示選択機能 ・SPEED METER ・EX.T METER	リアルモード	MODEスイッチ	グリーンLED1回点滅
指針表示選択機能 ・POWER METER ・REV METER	リアルモード パッシングホールドモード	MODEスイッチ	グリーンLED2回点滅 グリーンLED3回点滅 モード切替後点灯
ピークホールド機能	ピーク値表示 ピーク値リセット	PEAKスイッチ PEAKスイッチ1秒押し	イエローLED点灯 イエローLED消灯
ワーニング機能	ワーニング値表示 ワーニング値設定	MODEスイッチ1秒押し PEAKスイッチで上昇 RECスイッチで下降	レッドLED点灯
リプレイ機能	記録スタート 記録ストップ 記録データリプレイ リプレイ2倍速 リプレイ停止	RECスイッチ1秒押し RECスイッチ RECスイッチ3秒押し MODEスイッチ PEAKスイッチ	レッドLED点滅 レッドLED消灯 グリーンLED点滅 グリーンLED早点滅 グリーンLED消灯
輝度調整機能	LED照明調整	MODEスイッチ3秒押し PEAKスイッチで上昇 RECスイッチで下降	全LED点灯
TEMP METER切替	TEMP1表示選択 TEMP2表示選択	MODEスイッチ	グリーンLED消灯時 グリーンLED点灯時

## 【メーターパーツのご紹介】

・レーシングメーターDC の取り付けに便利なオプションパーツをご紹介します。

商品名	品番	定価	備考
TEMPフィッティング M12 - 1.25	19220	¥800	TEMPセンサー取り付け時に使用
TEMPフィッティング M14 - 1.5	19221	¥800	
TEMPフィッティング M16 - 1.5	19222	¥800	
TEMPフィッティング M20 - 1.5	19224	¥800	
クーリングパフォーマ(車種別)	754##	¥9800~	
油圧アダプターセット	19551	¥5000	PRESSセンサー取り付け時に使用
燃圧アダプターセット	19559	¥5000	
アタッチメントオイルデリバリー	73103	¥950	
オイルセンサーアタッチメント TYPE-A	19231	¥6800	TEMPセンサー・PRESSセンサー 取り付け時に使用
オイルセンサーアタッチメント TYPE-B	19232	¥6800	
オイルセンサーアタッチメント SUBARU 用	19233	¥9500	
ナイロンホース 4 1m	75318	¥370	バキュームホースの延長時に使用
ナイロンホースジョイント	16029	¥200	ナイロンホース 4の接続時に使用
IAGホース 24×250	75701	¥520	エンジンルーム内の断熱時に使用
アルミクロスマット 1.5T×500×500	75751	¥3000	
マルチスタンド	29290	¥1000	メーター本体取り付け時に使用

### (各部仕様)

#### LIVE UNIT

作動電源: DC12Vバッテリー車両対応

メイン電源12V、GNDアース

作動環境温度 0~60

電源ハーネス: 2Pハーネス L=75mm(保護チューブなし)

PRESSセンサー接続ハーネス: 3Pハーネス L=75mm(保護チューブ黒)

TEMP2センサー接続ハーネス: 2Pハーネス L=75mm(保護チューブ赤)

TEMP1センサー接続ハーネス: 2Pハーネス L=75mm(保護チューブ黒)

BOOST接続チューブ: 4ナイロンホース L=70mm

車速信号・ライブユニット 連結ハーネス接続ハーネス: 5PハーネスL=75mm(保護チューブ黒)

EX.Tセンサー接続ハーネス: メスギボシ・スリーブ2ヶ L=75mm(保護チューブ黒)

TACHOハーネス接続ハーネス: 1Pハーネス L=75mm (保護チューブなし)

外部ワーニングインジケーター接続ハーネス: 2Pハーネス(赤) L=70mm(保護チューブ黒)

REVワーニングインジケーター接続ハーネス: 2Pハーネス(青) L=70mm(保護チューブ黒)

本体ケースサイズ: 80×77.5×20

#### BOOST METER

ブースト圧表示範囲: -0.7~2.0[×100kPa]

#### TEMP METER

温度表示範囲: 20~150[ ]

## PRESS METER

圧力表示範囲:0.0 ~ 10.0[ × 100k Pa]

## SPEED / POWER METER

車速表示範囲:0 ~ 400[km / h]

馬力表示範囲:0 ~ 500[ps]

## EX.T / REV METER

排気温度表示範囲:0 ~ 1200[ ]

エンジン回転数表示範囲:0 ~ 12000[rpm]

### (初期設定値)

- ・ 表示モード……………リアルモード
- ・ ピーク値……………最小値
- ・ ワーニング値……………OFF
- ・ 照明輝度……………最大値(輝度100%)
- ・ リプレイデーター……………なし

(上記設定値は、IG - OFF後も記録されています)

### (クレーム又は故障修理依頼時のご注意)

- ・ 製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、ご購入頂いた販売店様を介して当社窓口までご連絡ください。  
「販売店様へ」
- ・ クレーム又は故障修理等で本製品を弊社へお送り頂く際は、「メーター本体」と「LIVE UNIT」をセットで送付してください。どちらか単体で送付された場合、故障症状が改善されなかったり、検査に時間がかかったりする場合があります。
- ・ 保証書に「故障内容」を明確に記入して頂き、本書も添えて送付ください。